



物流ニッポン

2008年(平成20年)

11 | 24 (月)

発行/月曜日・木曜日 第3182号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

東根拠点が本稼働

低温倉庫で穀物保管

センコン流
セ物

【黒田秀男】センコン流普通倉庫の計二棟で、物流が山形県東根市に建設していた「東根物流センター」が完成、六日から本格稼働した。コメや大豆など穀物類を保管する低温倉庫と工業品を扱う類の保管ニーズがあり、

山形県内では三か所目の営業拠点となる。県内ではコメや大豆など穀物類の保管ニーズがあり、

天童市内の既存施設では手狭なために新設。また、同地域は東北でも工業製品の出荷量が多いことから、一般貨物の保管や流通加工などを行う物流拠点にも位置付ける。

低温倉庫と普通倉庫で顧客ニーズに対応



東根市の大森西工業団地二号棟の床面積は三千八の隣接地に建設、敷地面積が一万六千平方メートルも低温倉庫となつてい。倉庫は向かい合わせの形で建設。平屋建ての施設で、一号棟は床面積が五千百三十平方メートル。三区画に仕切られ、このうちの一区画(九百九十平方メートル)が低温設備(倉庫)。

普通倉庫は工業品の入出庫、保管から在庫管理、流通加工など付加価値のある物流サービスを提供。低温倉庫は最新設備を導入して品質保持を図るとともに、コメの保管量を増やすために天井を高くしたり、床面の耐加重を強固にしている。